

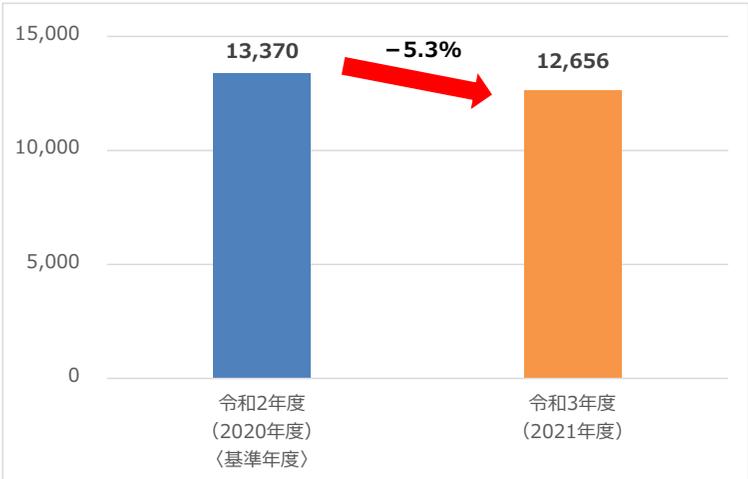
萩市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）令和3年度取組結果

令和3年度温室効果ガス排出量について

萩市の事務事業における温室効果ガス排出量は、前年度より 714 t-CO2 少なく、12,656 t-CO2 となり、**5.3%削減**できました（図 1）。しかし、電気事業者の排出係数の減少による影響が大きく（表 1）、新型コロナウイルス感染症対策として、換気しながら空調利用を行うなどしたため、電力の使用量については、あまり減少していません（表 2）。

コロナ禍が収束していくと、施設の利用増加により、エネルギー使用量が増加し、温室効果ガス排出量が増加することが懸念されるため、引き続き、職員による環境配慮行動の実践により、温室効果ガス排出量の削減に努める必要があります。

【図 1】温室効果ガス排出量の推移



【表 1】電気事業者の温室効果ガス排出係数（単位：t-CO2/kWh）

	令和2年度	令和3年度
中国電力	0.000561	0.000531
エネット	0.000391	0.000373

【表 2】電力の使用量（単位：kWh）

	令和2年度	令和3年度
電力の使用	18,782,076	18,545,466

【表 3】温室効果ガス排出量の状況

項目	温室効果ガス排出量 (t-CO2)			
	令和2年度	令和3年度	増減率	
電力の使用	10,273	9,836	△4.3%	
燃料の使用	ガソリン	283	321	13.4%
	軽油	198	197	△0.5%
	灯油	1,907	1,708	△10.4%
	A重油	93	105	12.9%
	LPガス使用量	149	134	△10.1%
公用車の走行距離	14	16	14.3%	
その他	下水処理量	204	158	△22.5%
	浄化槽汚泥の処理	235	174	△26.0%
	し尿処理量	9	4	△55.5%
	一般廃棄物焼却量（見島）	5	4	△20.0%
合計	13,370	12,656	△5.3%	

【図 2】令和3年度温室効果ガス排出量内訳

